

甲州印伝への山梨県産鹿革の活用とプロダクトの試作開発

研究の背景

○山梨県では平成26年3月に「ニホンジカ有効活用ガイドライン」を公表し、捕獲したニホンジカの有効活用を推進する必要性を示している。

○食肉については、加工施設の設置や食品開発が進展しているが、皮の活用については埋設処理等に留まっている状況である。

研究の目的

本県に生息するニホンジカについて、その有効活用策としての鹿革製品の企画開発と、効率的な捕獲方法等について研究し、県産鹿革の有効活用に係る提案を行う。

研究の内容

- ① 本県生息のニホンジカを素材として活用（物性評価、感性評価）
- ② 試験的なプロダクト開発（印伝製品のリ・デザイン）
- ③ 皮の安定的供給に向けた生態情報調査（モデルケースの実施）
- ④ 「捕獲マニュアル」「解体・保存マニュアル」の作成



期待される成果

ニホンジカから得られる皮の高付加価値化を推進することで、川上となる「捕獲」の価値向上が図れ、県産鹿皮の有効利用についてのガイドライン作りに寄与することができる。